

緑の現況について

1 緑被率調査について

(1) 概要

緑被率とは、対象とする地域の面積に占める樹林や草地、農地などの植物によって覆われた土地の面積の割合であり、平面的な緑の量を示すための指標として、目標水準の一つに掲げている。

(2) 測定方法

人工衛星画像から得られた1.6m四方のメッシュの情報を解析して緑の量を算出した。

※ 前回調査では、2.5m四方のメッシュで得られた情報を解析し、緑の量を算出した。近年の技術の進歩により、前回よりも精度の高い解析が可能となった。

(3) 測定範囲

広島市内全域

(4) 結果

緑被率：21.5%

調査の結果、広島市の市街化区域の緑被率は21.5%となり、前回の調査結果を維持することができた。

〈補足〉

前回の調査結果は18.3%であるが、使用した衛星画像の解像度が2.5mメッシュから1.6mメッシュへ向上したことにより、緑地部分の抽出率が上がったことが影響していると考えられる。

2 緑視率調査について

(1) 概要

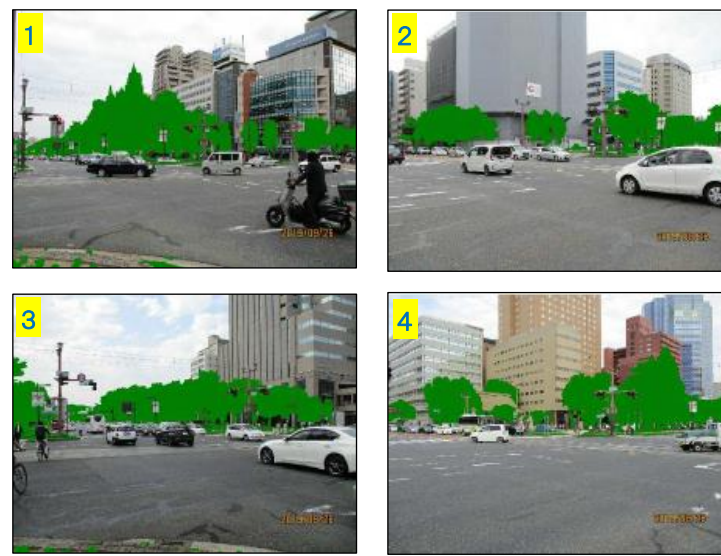
緑視率とは、人の視界に占める「緑の面積」の割合であり、緑被率調査では把握できない壁面緑化などの立体的な緑をとらえることができるため、緑の量を目で見たままに評価することが可能である。

(2) 測定方法

撮影した画像に占める緑の割合から緑視率を測定する。

人の視野に近い風景を撮影するため、焦点距離24mmのレンズを使用し、地上1.5mの高さで水平方向を撮影し、撮影した画像内の樹木（幹、枝等も含む）や草地、壁面緑化、芝生などを着色し、その割合から緑視率を算出する。

〈緑視率調査のイメージ〉



(3) 測定箇所

都心部を中心に合計25箇所を選定した。（郊外はもとも緑が多いため本調査箇所から除外した）

測定地点	活用の事例
平和大通りなど広島市の平和を象徴する場所	都心を回遊する「緑のネットワーク」を創出する。
広島駅などの交通結節点	来訪者が多い場所で緑視率を向上させ、イメージアップを図る。
紙屋町・八丁堀などのにぎわいの中心	緑視率の向上により、景観や生活環境の向上を図ることで「人々をひきつける効果」を高め、地域の活性化につなげる。
再開発などが想定される場所	大きく変化が見込まれる地区であり、緑の誘導を図るための指標の一つとして活用する。
公共施設など地域の拠点	緑視率25%※を公共施設緑化の目標にする。

※過去の研究により、緑視率がおおむね25%を上回ると緑が多いと感じることが分かっている。

(4) 結果

測定地点	主要な箇所の測定結果
平和大通り※など広島市の平和を象徴する場所	平和大通り（46.9%）、平和記念公園（35.4%）
広島駅などの交通結節点	広島駅（17.9%）、西広島駅（14.9%）
紙屋町・八丁堀などのにぎわいの中心	八丁堀交差点（3.2%）、紙屋町交差点（16.9%）
再開発などが想定される場所	基町駐車場（0.2%）、旧広島東警察署（4.7%）
公共施設など地域の拠点	広島市役所（27.5%）

※平和大通りは、NHK広島放送局前での結果

3 緑に関する市民アンケートについて

(1) 概要

広島市の緑のまちづくりに関する市民意識を把握し、「広島市緑の基本計画」の改定に当たっての基礎資料とするため、市民アンケートを実施した。緑豊かなまちをつくるためには、緑の量を確保することだけでなく、市民が緑豊かなまちであると実感していることが大切であるため、アンケート項目のうち「広島を緑豊かなまちであると実感している市民の割合」について、目標水準の一つに掲げている。

(2) 調査方法

令和元年10月31日現在広島市内在住の20歳以上の市民の中から3,000人を無作為に抽出し、郵送により調査票を発送、回収した。（インターネット回答も可）

(3) 結果

〔回答者数 969人（回収率 32.3%）〕

・広島を緑豊かなまちであると実感している市民の割合：69.3%

〈参考〉

回答	そう思う	そうは思わない	わからない	無回答
	69.3%	19.1%	11.1%	0.5%

・みどりに関する活動に参加したことのある市民の割合：54.1%